

「ニューノーマル」に 異議あり！？

日本証券アナリスト協会 常務理事

渥 美 恭 弘



私は、おかげさまでコロナを患うこともなく、何とか健康でやっている。しかし、そのコロナがもたらした「ニューノーマル」とやらへの「副反応」に苦しみ、大変な目にあっている。コロナ収束後も「ニューノーマル」が続くと皆が言う。困ったものだ。私以外にも、お困りの方はたくさんいるに違いない。

まずは、テレワーク。「ニューノーマル」の「1丁目1番地」だ。私は、昨年4月の最初の緊急事態宣言の際、当協会のコンプライアンスも担当する事務局トップの方から、「テレワークをしなさい」と御指示をいただいた。1日目は何とかやってみた。しかし2日目は無理であった。それ以降はお許しをいただいて、出勤させてもらっている。私の場合、会社の環境の方が、自宅よりはるかに快適なのだ。まず何と言っても、妻との関係だ。自宅にいと妻と顔を合わせることが当然多くなり、恐妻家の私は怯えてしまうのだ。今年のサラリーマン川柳で第1位となった、「会社へは 来るなと上司 行けと妻」は、私の心情を見事に代弁する最高傑作である。それから、自宅で自らを律して、机に向かって座り続けるだけの忍耐力がない。仕事以外のあれやこれやの誘惑に負けてしまうのだ。他方、会社では仕事に必要なすべての資料が紙でそろっていて便利だ。自宅では、仕事上の資料をパソコンからプリントアウトするこ